



発行/
大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121

E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円

アヤメ 画・加納忠

「大阪府北部地震」と防災

田結庄良昭 (神戸大学名誉教授)

2018年6月18日朝、大阪を直下型地震が襲いました。「まさか…大阪に」、震源はどこ？まだ来るの？そんな疑問に緊急学習会が開かれました。田結庄良昭先生の講演概略をレポートします。

豪雨被害は土砂災害警戒区域で…

はじめに、集中豪雨に関する報告をします。7月4日から4日間、関西地方でも雨が降り続き、神戸では430mmと大きな被害がでました。神戸新聞によると、土砂崩れが290カ所、床上・床下浸水は300棟にのぼり、兵庫県内初の大雨特別警報が15市町に発令されました。48時間の雨量では、神戸市中央区や西宮市など12カ所の観測所で、観測史上最大になりました。

灘区篠原台では、6日に風化花崗岩の軟弱な裏山が崩れ、大量の土砂が、多くの家屋に流れ込み、住民が閉じ込められ、避難指示が出ました。そこは、崖崩れや土石流など「土砂災害警戒区域」に指定されているところでした。神戸大学工学部の情報基盤センターでも、裏の崖が崩れ1階校舎に土砂が流れ

込みました。豪雨をもたらしたのは積乱雲（にゅうどう雲）で、長さ10km、高さ15kmほどですが、今回は、同じ場所で、次々発生し、強い雨を降らす「線状降水帯」と呼ばれる雨域の発生によるものです。

揺れは平等ではなく・被害も平等に起こらない

大阪府北部地震は、大都市を襲った典型的な内陸地震（直下型地震）です。地震規模のわりに被害が大きく、都市部直下地震の恐ろしさを示しました。

気象庁18日10時の発表によると、マグニチュードは6.1（阪神淡路はM7で64倍の強さ）、震源は大阪府北部の、有馬・高槻断層帯と上町断層帯、生駒断層帯の交差するあたりです。有馬高槻の活動周期は2千年と長く、歴史的経過から考えて、南海トラフ地震の前触れかもしれないのです。



西河原

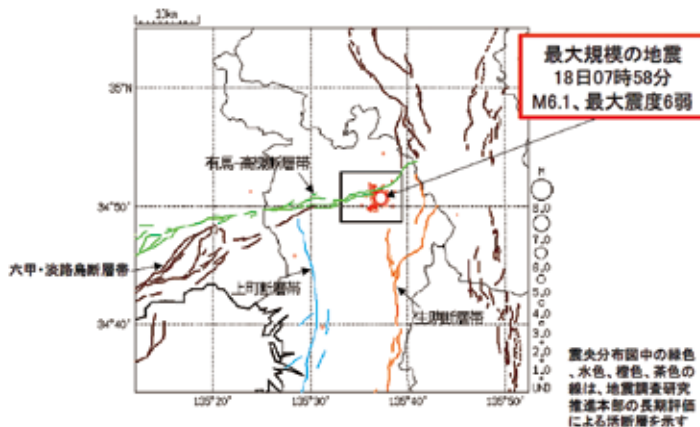
家屋の被害は屋根瓦損傷などが大部分で、6月30日現在で、大阪府は府内で全壊4棟、半壊50棟、一部損壊2万76棟と発表されました。なお、観測される計測震度は、地盤に大きく左右されます。従って、地盤の違いにより震度が1階級程度異なるので、例えば、茨木市では、河原や川原など、地名が記憶する旧の河道や川の合流域など、軟弱地盤地域で多く起こっています。しかも、新しい家屋には被害があまりなく、住宅格差が顕著に現れたのが今回の特徴です。

(次ページへつづく)

平成30年6月18日 大阪府北部の地震
地震活動の状況 (6月18日09時00分現在)

震央分布図

(2018年6月18日07時00分～09時00分、Mすべて、深さ0～20km)



第23回 環境学校

日時 9月15日(土) 13:30～

場所 大阪民医連

テーマ 「生活の中から環境問題を考える」

資料代 500円 (学生さん無料)